

任務を構成する事業評価

No.	7	担当課	企画政策課
-----	---	-----	-------

1.任務目的

任務目的	各種統計事務について、迅速且つ適正な処理を行う
------	-------------------------

2.任務概要

任務概要	国民生活の基礎資料となる国勢調査等各種統計データを収集・整理し、国・県へ報告することで実態を明らかにするため、各種統計事務について適正な処理を行う。
任務の総括	市が実施している各種統計事務の多くは法定受託事務または県の委託事務であるため、今後も継続して事業を実施する。菊川市の基本的な統計資料をまとめ、「平成30年度菊川市データルーム」を刊行し、ホームページへの掲載、図書館へ納本することで市勢の現状並びに発展の推移を明らかにするよう努めているが、今後は統計結果等の2次利用が容易となるようホームページへの掲載方法について検討する。各種統計データを適正に収集できるよう、今後も継続して調査員の確保に努める。

3.任務目的を構成する事業

事業名(中分類)	適正な統計調査の実施	予算事業番号 (予算事業名)	2.5.1.102099(諸統計調査費)
事業(中分類)概要	主な事業の概要としては、住宅・土地統計調査等国が実施する基幹統計や県が実施する統計等各種統計調査実施にあたって必要な事前準備、調査員の推薦、調査員への説明・指導等を行っているほか、統計調査実施後データが適正に収集されているか確認後・整理し、国・県へ報告する。また、菊川市の基本的な統計資料をまとめた「菊川市データルーム」を毎年刊行しており、統計結果の活用と情報提供を行っている。		
取組内容・結果等(D)	調査実施にあたり、調査の重要性、調査協力へのお願いを広報するなど、調査対象者(事業所)への統計調査に関する理解を得られるよう努めた。「菊川市データルーム」を刊行した。例年通りの菊川市ホームページへのPDF形式での掲載のほか、二次利用が可能であるCSV形式でオープンデータにも掲載した。		
課題・問題点等(C)	新たな調査員の確保には、元職員や職員の知人などをお願いすることだけでは困難な状態となっている。個人情報への意識の高まりに伴い、調査を拒否する方が増加している。		
今後の方向性(A)	統計調査が確実に実施できるよう継続して登録調査員の確保に努める。必要に応じて自治会に協力を求めることを検討することや、引き続き市ホームページ等で募集を行うほか、効率的に登録調査員を確保できるよう過去に調査員を引き受けてくれた方に向けて募集する。調査実施にあたり、より一層調査の重要性、調査協力へのお願いを広報するなど、調査対象者(事業所)への統計調査に関する理解を得られるよう努める。		

任務を構成する事業評価

No.	8	担当課	企画政策課
-----	---	-----	-------

1.任務目的

任務目的	全庁的な業務、総合調整を着実に推進し、住みやすいまちづくりを行う
------	----------------------------------

2.任務概要

任務概要	全庁的に影響があるもの、また調整を伴うものについて、会議や打ち合わせ資料の作成及び関係者の日程調整等を行い、会議等を主宰する。最終的に市としての考え方や方向性を決定し、議会や全庁、管理職に周知・説明を行う。また、庁内最高決定会議である政策会議の事務局として会議等の調整を行う。
任務の総括	・全庁的に影響があり、担当課が複数ある場合等において、課題整理や素案の検討を行い、資料作成及び関係者の日程調整等を経て会議等を主宰する。 ・政策会議の事務局として開催日時、場所等の調整を行う。会議内容についても庁内各所属の状況を把握し、会議内容等の調整を行う。

3.任務目的を構成する事業

事業名(中分類)	庁内会議の開催	予算事業番号 (予算事業名)	なし
事業(中分類)概要	政策会議の事務局として開催日時、場所等の調整を行う。会議内容についても庁内各所属の状況を把握し、会議内容等の調整を行う。		
取組内容・結果等(D)	政策会議については、会議開催前の事務手順や統一様式の変更等、常に改善や調整を行い実施している。		
課題・問題点等(C)	今後は無線LAN対応端末が貸与されることによりペーパーレス会議へと移行していく。 組織として無線LAN対応端末の仕様やペーパーレスについては初めてのことであるため、検証等を十分に行い会議に支障の無いよう調整を図っていく必要がある。		
今後の方向性(A)	会議のペーパーレス化		

事業名(中分類)	全庁的な業務の取りまとめ	予算事業番号 (予算事業名)	なし
事業(中分類)概要	全庁的に影響があり、担当課が複数ある場合等において、課題整理や素案の検討を行い、資料作成及び関係者の日程調整等を経て会議等を主宰する。		
取組内容・結果等(D)	本庁舎周辺施設の調整		
課題・問題点等(C)	全体調整は図るが最終的には担当課において対応しなければ全体として進捗していかないところであるが、担当課の認識不足が伺える。		
今後の方向性(A)	担当課への経過や今後の計画について認識を促し、全体がバランスよく進捗していくよう調整を図る。		

任務を構成する事業評価

No.	9	担当課	企画政策課
-----	---	-----	-------

1.任務目的

任務目的	総合計画に定める基本構想に掲げたまちづくりの将来像を実現するため、政策・施策を着実に推進する
------	--

2.任務概要

任務概要	第2次菊川市総合計画の将来像「みどりときめき たしかな未来 菊川市」を実現するため、総合計画・実行計画の管理、社会状況の変化を捉えた施策展開を実施することで、目指すべき市の方向性を示す。
任務の総括	第2次菊川市総合計画の目標達成に向けた取り組みを進める。社会状況の変化を捉えた施策展開を調査、研究し提案する。

3.任務目的を構成する事業

事業名(中分類)	総合計画・実行計画の管理	予算事業番号 (予算事業名)	2.1.7102856(企画総務費)
事業(中分類)概要	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度の人口45,000人を目標とした第2次総合計画に取り組み、各事業の進捗管理を取りまとめる。 前年度の政策・施策評価を受け、サマーレビューを実施し、次期実行計画を作成する。 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> 第2次総合計画2年目の年度を迎え、1年目の評価並びに3年目に向けて第3次実行計画策定を進めてきた。 総合計画の進捗管理は、総合計画庁内策定委員会及び総合計画審議会で実績報告を実施した。 サマーレビューは、予算編成前に実施し、より政策的な事業の創出に向け、対象を新規事業に絞り、事業の見直しをした。 		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画の進捗管理について、目標とする令和7年度に対して前年度の評価をしたところ、総合計画審議会にて単年度ごとの進捗状況がわからないのご意見をいただき、評価方法の見直しをした。 サマーレビューを実施しても、予算編成時期に予算歳出超過により見直しとなることもあり、実行計画と予算管理の効果的な連携を検討する必要がある。 		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画の進捗管理は、単年度ごとの進捗状況が管理できるものにし、平成30年度分から変更する。 新たなる行政経営システムを構築し、行政評価、実行計画、予算編成が効果的に連携できるものとする。 		

事業名(中分類)	社会状況の変化を捉えた施策展開	予算事業番号 (予算事業名)	なし
事業(中分類)概要	<ul style="list-style-type: none"> 市議会2月定例会において、市長が発表する翌年度の施政方針についての素案を作成する。 市長及び副市長の特命事項に対応する。 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> 国、県の政策や国内、県内の経済状況などについて情報収集を行った。また、各部が推進する施策については、サマーレビュー時に選出された部の次年度運営方針(案)を参考とし、各部に確認を取りながら施策方針の素案を作成した。 		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> 国や県の政策に影響を及ぼすものなど、施政方針への反映が必要となる場合もあるため、日頃から情報収集に努める必要がある。 		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> 施政方針について、引き続きスケジュールどおりに作成作業を進め、期限内に確実に完成させる。 特命事項については、引き続き迅速に対応していく。 		

事業名(中分類)	地域活性化の推進	予算事業番号 (予算事業名)	2.1.7.102856(企画総務費)
事業(中分類)概要	<ul style="list-style-type: none"> 地方創生推進交付金に係る申請等の各種事務を行う。 地域再生計画の作成・変更等の各種事務を行う。 構造改革特区、総合特区等に関する情報収集を行う。 (財)静岡県市町村振興協会に関する庶務(助成金、宝くじ等)を行う。 ユニバーサルデザインに関する情報収集や庁内への周知を行う。 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> 地方創生推進交付金の新規事業として、菊川市庁舎東館を核とした賑わいの好循環を創出するための「賑わいと活力を生み出す都市づくり」について交付申請を行ったほか、継続事業である「時代を先取る菊川型農業モデルの創出事業」についても交付申請を行い、いずれも採択された。また、これら2事業に係る地域再生計画についても申請を行った。 ユニバーサルデザインについては、平成30年5月にバリアフリー法が改正されたため、国の説明会への出席等により情報収集を行った。 構造改革特区等については、市ホームページ内に制度内容を紹介する専用ページを作成し、周知を図った。 市町村振興協会については、各種助成金に係る通知等を関係課へ送付し、対応していただいた。 		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> 財源確保の観点からも、地方創生推進交付金や地方創生拠点整備交付金を庁内で積極的に活用してもらいたいため、他市町の採択事業について情報提供を図っていく必要がある。また、各課へ事業の提案ができるようになることも必要と考えるため、担当が交付金について熟知するとともに、市で進めている各施策について理解していく必要がある。 		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> 地方創生推進交付金、地方創生拠点整備交付金の制度及び他市町の事例等を庁内へわかりやすく情報提供するとともに、活用可能と思われる事業については各課へ提案していく。 		

事業管理シート(任務目的)

任務目的	総合計画に定める基本構想に掲げたまちづくりの将来像を実現するため、政策・施策を着実に推進する
------	--

事業名(中分類)	地方創生への対応	予算事業番号 (予算事業名)	2.1.7.102856(企画総務費)
事業(中分類)概要	<ul style="list-style-type: none"> ・菊川市人口ビジョン、菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進を図るため、進捗管理を行い庁内策定委員会、総合計画審議会に報告するとともに、市議会からの意見聴取を行う。 ・菊川市人口ビジョン、菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の次期計画の策定を行う。 ・職員の施策立案や事業推進のためのデータ収集と分析スキル取得を目的としRESASの活用推進を行う。 ・人口減少対策等の施策の研究を行う。 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> ・菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の事業進捗管理として、平成29年度実績については、6月に庁内策定委員会、7月に総合計画審議会を開催。平成30年度中間進捗状況については、11月に庁内策定委員会、12月に総合計画審議会を開催し、進捗状況の承認、報告を行った。 ・次期総合戦略の策定にあたり、現在の戦略事業について検証を行い、各課が考える今後の方向性等をとりまとめたものを3月に開催した庁内策定委員会に提出し、委員から意見をいただいた。 ・データ収集や必要な指標をデータから取り出す能力を身に付け、分析等に必要データの種類を理解し、必要なデータを収集することにトライできる状態になることを目的とし、10月にRESASを活用したデータ分析職員研修(初級編)を袋井市と共同で開催した。当日は内閣府が見学に来て、RESASホームページにも事例紹介として研修内容が掲載された。 		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> ・総合戦略の各事業の年度目標を達成するために、達成率が低いものについては、改善等を促していく必要がある。次期戦略の策定について国や県の動向を把握しながら策定を進めていく必要がある。策定にあたっては、既存事業の継続実施についての判断や、新規事業の追加を行っていく必要がある。 ・RESASを活用したデータ分析研修を2年開催し、次年度は中級研修を開催する予定だが、研修受講者が実際の業務で活用していただく必要がある。また、受講していない管理職やその他職員にもRESASを認知させ、施策立案や予算編成等に活用していただく必要がある。 		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> ・総合戦略については、7月開催予定の総合計画審議会において平成30年度の実績を報告し、目標を達成するために引き続き推進を図る。 ・次期戦略の策定については、国や県の動向を把握しながら策定を進め、年度末までに完成させる。 ・RESAS研修については、共同開催している袋井市と意見交換しながら次年度の研修内容を詰めていくとともに、今後の取り組みについて検討を進める。 		